

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成28年6月1日

大分県知事

広瀬 勝貞 殿

提出者

住 所 大分県杵築市大字本庄1453番地の1

氏 名 株式会社ジェイエイフーズおおいた

代表取締役社長 畑辺 由治

電話番号 0978-62-6500

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 ジェイエイフーズおおいた
事業場の所在地	大分県杵築市大字本庄1453番地の1
計画期間	平成28年4月1日～平成29年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	1011
②事業の規模	資本金4億9千3百万円
③従業員数	170人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙 1

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図) 別紙 2		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
① 現状	【前年度（27年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙 3-1
	排出量	3,275 t
	(これまでに実施した取組) 汚泥を乾燥して発生量を抑制した。 使用済み包装資材は、可能な限り資材業者へ返品した 食物残渣（果皮）は脱水する。	
② 計画	【目標】28年度目標	
	産業廃棄物の種類	別紙 3-2
	排出量	3,848 t
	(今後実施する予定の取組) 食物残渣の脱水能力を高める。 汚泥脱水機の更新をする。	
産業廃棄物の分別に関する事項		
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 発生毎に分類し、一時保管場所の区分を明確にしている。	
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状を周知徹底する。	

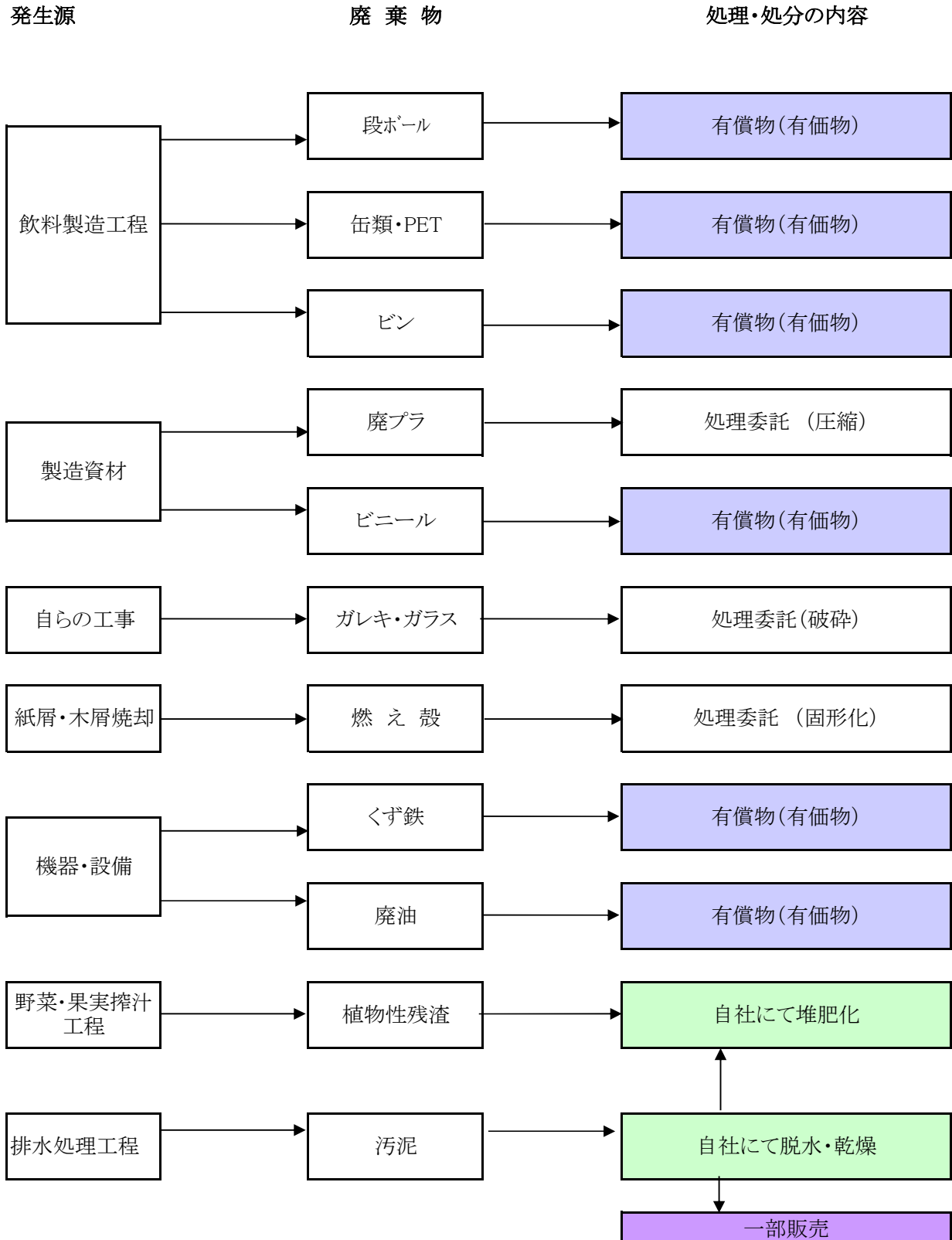
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 27年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙添付3-1	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	2,918 t	341.9 t
	(これまでに実施した取組) 食物残渣、汚泥の堆肥化		
② 計画	【目標】（ 28年度）		
	産業廃棄物の種類	別紙添付3-2	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	3,500 t	340 t
	(今後実施する予定の取組) 食物残渣の脱水能力を高める。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】 該当なし		
	産業廃棄物の種類	該当なし	該当なし
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	該当なし	該当なし
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】該当なし		
	産業廃棄物の種類	該当なし	該当なし
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	該当なし	該当なし
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 25年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3-1参照	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

② 計画	【目標】 26年度		
	産業廃棄物の種類	別紙3-2	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 脱水能力を高め発生の抑制をする。		
※事務処理欄			

廃棄物処理フロー図

④産業廃棄物の一連の処理工程



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(1)管理体制及び役割

名 称	氏 名	内 容
統括管理責任者	代表取締役社長 畑辺 由治	①廃棄物の処理に関する統括・報告・承認・予算の抽出
廃棄物企画推進者	製造部部长 木元 太一	①廃棄物処理計画の策定 ②発生抑制、再生、中間処理の推進と適正処理および運営管理に必要な事項の検討
廃棄物担当者	(正) 環境施設課長 山田 正行 (副) 環境施設課社員 福岡 康弘	①廃棄物処理計画の作成 ②廃棄物の管理状況把握と改善策検討 ③中間処理・最終処分業者の選定と委託契約の実施、管理 有効期限 変更内容確認 ④マニフェスト票の交付と管理 ⑤監督官庁への各種報告書の作成 ⑥社員への廃棄物に関する指導・教育の実施

(2)管理体制の強化

①管理体制

工場内の各部署と協力し、廃棄物処理に関する組織の編成を強化する。

(3)方法

①発生する廃棄物の種類、発生状況、処理方法、処理に関する留意事項を整理し企業全体で発生の抑制に努める。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

27年度計画処理実施状況

単位:ト

		27年度 排出量 目標	①27年度 排出量	②自己直 接再生利 用量	③自己直 接埋立て 処分又は 海洋投入 量	④自己中 間処理量	⑤ ④の内熱 回収した 量	⑥自己中 間処理残 さ量	⑦自ら中 間処理に より減量し た量	⑧自己中 間処理後 再生利用 量	⑨自己中 間処理後 直接埋立 て処分又 は海洋投 入量	全処理委託量				
												⑩直接及 び自ら中 間処理し た後の処 理委託量	⑪ ⑩の内優 良認定処 理業者へ の委託量	⑫ ⑩の内再 生利用業 者への処 理委託量	⑬ ⑩の内熱 回収業者 への処理 委託量	⑭ ⑩の内熱 回収認定 業者以外 への熱回 収業者へ の処理委 託量
食物残渣	搾汁粕	3500.0	2918.0	2918.0	0.0	0.0	0.0	2918.0	0.0	2918.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
汚泥	汚泥	340.0	341.9	341.9	0.0	0.0	0.0	341.9	0.0	341.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
廃プラスチック	廃プラ	3.0	15.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.7	15.7	15.7	0.0
ガラス屑/ガレキ	ガレキ・ガラス	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
燃え殻	焼却灰	3.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	1.4	1.4	0.0
合計		3846.1	3277.0	3259.9	0.0	0.0	0.0	3259.9	0.0	3259.9	0.0	0.0	17.1	17.1	17.1	0.0

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

28年度処理計画

単位:ト

		27年度 排出量	①28年度 発生量 目 標	②自己直 接再生利 用量	③自己直 接埋立て 処分又は 海洋投入 量	④自己中 間処理量	⑤ ④の内熱 回収した 量	⑥自己中 間処理残 さ量	⑦自ら中 間処理に より減量し た量	⑧自己中 間処理後 再生利用 量	⑨自己中 間処理後 直接埋立 て処分又 は海洋投 入量	全処理委託量					
												⑩直接及 び自ら中 間処理し た後の処 理委託量	⑪ ⑩の内優 良認定処 理業者へ の委託量	⑫ ⑩の内再 生利用業 者への処 理委託量	⑬ ⑩の内熱 回収業者 への処理 委託量	⑭ ⑩の内熱 回収認定 業者以外 への熱回 収業者へ の処理委 託量	
食物残渣	窄汁粕	2918.0	3500.0	3500.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
汚泥	汚泥	341.9	340.0	340.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
廃プラスチック	廃プラ	15.7	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	3.0	3.0	0.0	0.0	0.0
ガラス屑/ガレキ	ガレキ・ガラス	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
燃え殻	焼却灰	0.1	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	3.0	3.0	0.0	0.0	0.0
合計		3275.7	3848.1	3840.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.1	6.1	6.0	0.0	0.0	0.0

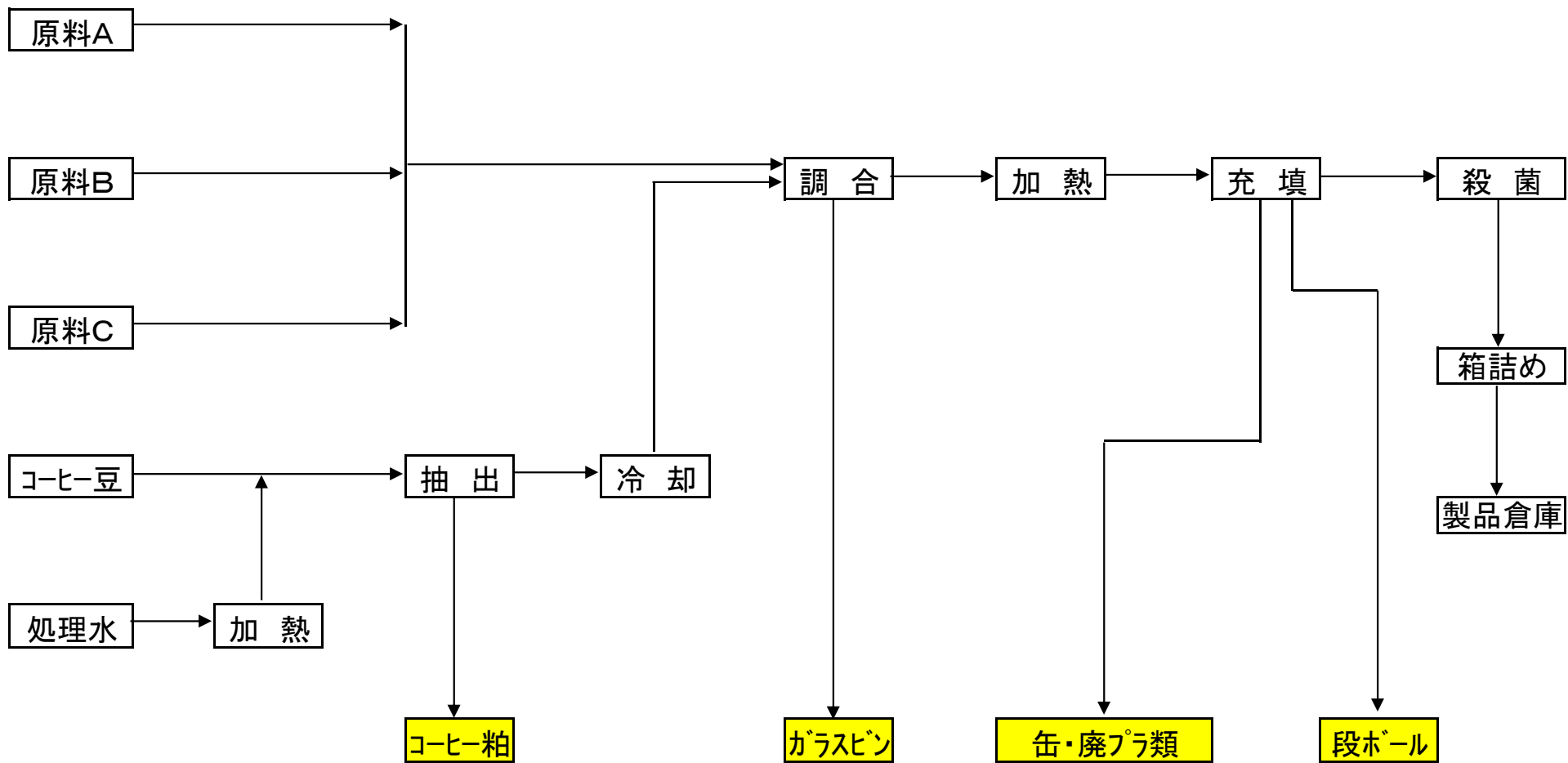


図1 コーヒー飲料製造フローシート
(茶飲料もほぼ同工程)

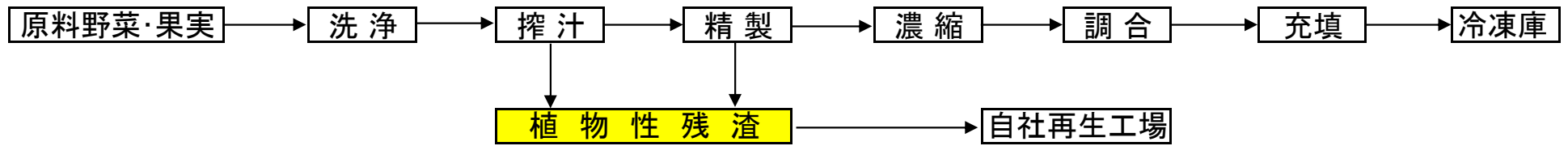


図2 残渣物発生フローシート

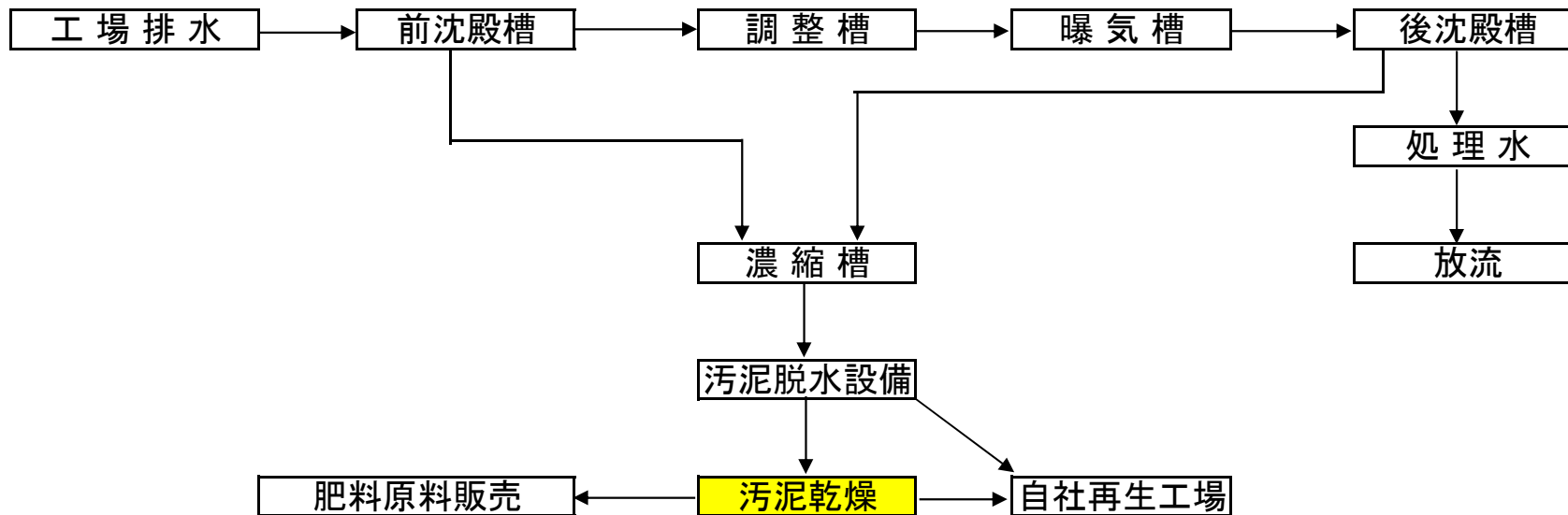


図3 污泥発生フローシート